ぽぽデイだより　NO.122　令和5年3月号

社会福祉法人　ほっとスマイル
ぽぽデイ名塩駅前　669-1133　西宮市東山台 1-1(1 階)　TEL０７９７－６２－１１６５

施設長より

春は出会いと別れの季節です。高校3年生の二人がぽぽデイを卒業します。先日、そのうちのおひとりと話したときは、新しい場所に向かうことの期待を語ってくれました。不安ではなく期待を話してくれたことが嬉しいことでした。こうして、1 年はあっという間に過ぎていきます。

今年度は、ぽぽデイ東山台の閉所という事態からスタートし、保護者のみなさまには、不安しかない状況であったかと思います。子どもさんの行き場が無くならないよう、一時的には定員超過でも受け入れるという決断をし、そのための人員も 15 人定員以上の配置で手厚く運営してきました。近隣他事業所の新規開設もあり、年度の後半からは 10 人の定員を超える日が少なくなってきました。定員超過を抑えるために、利用回数の制限にご協力いただいたみなさま、本当にありがとうございました。しかし、このままの職員配置では再び赤字経営となりますので、来年度は、ここで継続して運営していくために、経営上の工夫や判断をしなければなりません。ぽぽデイの職員は自ら取り組んでくれていますし、法人全体の中長期計画を理事、職員が考えるプロジェクトも始動しています。法人の運営協議会も先日開催し、ご意見を伺ったところですが、「ぽぽデイの運営を共に考える会」もコロナの規制が解除されたら、ぜひ継続して行いたいと思っています。その中で、再度、私たちの法人とぽぽデイ名塩駅前の果たすべき役割について一緒に考えていきたいと思っています。

児童発達支援 いちご組

見学の友だちや実習生の学生さんが、ぽぽデイに、たくさんあそびに来てくれます。
いつもとは違う雰囲気に、緊張される表情が見られましたが、一緒に時間を過ごすことで、すぐに仲良しになられていました。朝の会で椅子を用意する場面で、友だちの分を優しく、運んでくれる姿を見せてもらいました。新しい友だちや大人との出会いは貴重な時間・経験に繋がっていくのだと感じました。

カラー輪ゴムをつないで作った長いゴムで『ゴム跳び・くぐり』あそびをしました。大人の足首→ふくらはぎ→膝下…と少しずつ高さを変化させながらあそびます。両足跳び、片足ずつの着地…一人ひとりのタイミングや力を発揮して挑戦しました。後半は、「頭やおしりに触らないようにくぐろう」というあそびになりました。ご自身の体の大きさを理解・イメージしながら、上手く操ったり、勢いをつけてくぐろうとしたり、『くぐる』というテーマでも色々な表情をみせてもらいました。

暖かくなってくる気持ちの良い季節です。元気に来る→朝の会→設定あそび(制作やみんなでゲーム、体を使った粗大あそび等)→給食の時間、ぽぽデイのあそび・活動、生活リズムを大切にしながら、戸外あそびにも、たくさん出かけていきたいと思います。

放課後等デイサービス

寒さも徐々に和らぎ、春の訪れを感じる頃となりました。

この頃は以前とはまた違った姿を見せてくれるお子様がたくさんいるなぁと感じています。あるお子様はより積極的に友達の輪に入っていこうとする姿があり、またあるお子様は興味関心のあることが変化し、新たな世界を広げていっておられます。以前に比べ、コミュニケーションの中に他者への気遣いが感じられるようになったお子様もいらっしゃいます。

お子様が様々な人・もの・環境に触れてそこから何かを感じ取り、日々成長していく姿を近くで見ることができることをとても嬉しく思っています。

来月から学年が一つあがり、新しい学年となりますが、これからもぽぽデイがそのようなお子様の成長の一助となるような明るく、楽しい場所であり続けられるように努めていきたいと思っています。

これからも元気でぽぽデイに来てくださいね。

スタッフの一言

節分の日、「恵方巻きって、その年の神様がいる方向を向いて、黙ってお願い事をしながら食べるでしょ。でも僕は自分で努力をして願い事を叶えたいから必要ないんだ」とお子さんからのかっこいい言葉。歳を重ねるにつれて努力を忘れ、神頼みばかりになりつつある私自身に反省をした瞬間でした。

澤本

2月は1週間半ほど育休をいただき、子育てに集中できる時間をすごさせてもらえました。私が寝かしつけをしようとしても、なかなか寝てくれません。より布団に入ると、よりいっそう元気いっぱいになります。ご飯を食べいてる時は、なぜか私が「あーん」と口へ持っていくとよく食べてくれました。小さいなりにお父さん、お母さんの役割を考えているんだなぁと感じさせてくれました。

木村